

(2)生涯学習

「第6次千葉市生涯学習推進計画(令和5年～令和14年)」に基づき、進捗状況について点検・評価を行う。

目指すべき姿

一人ひとりが 学びを通して成長し みんなが輝くまち 千葉市

計画目標

新しい時代の市民の学びを支え、
生活や地域・社会に生かし、
多様な主体と連携・協働を図り
持続可能な社会を形成できる環境をつくる

「成果指標」における「達成状況」の記載について

令和7年度実績値の状況により4段階に分類

区分	説明（成果指標の達成状況基準）
◎	R7 実績値が中間目標値（R9）以上であるもの
○	R7 実績値が中間目標値（R9）以下、当初値（R3 または R4）以上であるもの
△	R7 実績値が当初値（R3 または R4）と同水準にあるもの
×	R7 実績値が当初値（R3 または R4）以下であるもの

「アクションプラン」における「進捗状況」の記載について

令和7年度実施状況により4段階に分類

区分	説明（計画事業の進捗状況基準）
順調	計画に対し、概ね計画どおり進捗しているもの。
遅れ	計画に対し、事業進捗に遅れが出ているもの。
休止	事業を休止し、今後再び実施する予定のもの。
中止	事業を中止し、今後も実施しないもの。

1 学習活動のきっかけと場の提供

基本施策 1-1 生涯学習の普及啓発

施策の方針

- 市民に学びの楽しさ、大切さに興味・関心を持ってもらえるよう、様々な機会を活用して情報を発信し、学習のきっかけづくりにつなげます。

成果指標

担当課： 生涯学習振興課、加曽利貝塚博物館、郷土博物館、埋蔵文化財調査センター、中央図書館管理課

No.	成果指標	当初 (R3)	実績 (R7)	中間目標 (R9)	達成状況
1	生涯学習イベント延べ来場者数	30,343 人	63,524 人	83,400 人	○

※生涯学習センター、科学館、加曽利貝塚博物館、郷土博物館、埋蔵文化財調査センター、図書館のイベント延べ来場者数

〈成果指標の分析〉

No.	達成状況に対する現状分析	今後の取組み等
1	当初値を上回り中間目標に向けて、順調に推移しています。 郷土博物館は 11 月初旬まで休館していたものの、リニューアル後の OPEN イベントや、科学館における科学フェスタの来場者増加が要因と考えます。 加えて、加曽利貝塚博物館や埋蔵文化財調査センター等の施設でも、イベントや市民講座を計画どおり実施した成果が表れていると考えます。	引き続き、新たな来場者の獲得に繋がるよう、イベントや市民講座を企画・実施します。

アクションプランの進捗

No.1 学習のきっかけづくりとなる生涯学習イベントの開催

担当課：生涯学習振興課、加曽利貝塚博物館、郷土博物館、
埋蔵文化財調査センター、中央図書館

No.	事業名	令和7年度の実施状況	進捗状況
1	まなびフェスタ【継続】	まなびフェスタを開催（2月14日、15日）	順調
2	公民館文化祭【継続】	全47館のうち45館で実施（未実施：隔年開催の1館、空調工事改修中のため休館の1館）	順調
3	科学フェスタメインイベント【継続】	千葉県科学フェスタ2025を10月11・12日に開催	順調
4	縄文春・秋まつりなどのイベント内での実施【継続】	縄文春まつり（5/3・5/4・5/5） 夏休み縄文ウィーク（8/13・8/14・8/15・8/16） 縄文秋まつり（10/25・10/26） 縄文ひろば（4月～3月の第2・第4日曜日のうち16回実施） 体験プログラム（4月～3月の土・日・祝日開催、計82回実施）	順調
5	郷土の歴史に興味を持つきっかけづくりとなるイベントの実施【継続】	リニューアル再開後、むかし遊び、鎧の試着体験などの体験学習を実施	順調
6	まいぶん古代体験教室【継続】	特別展ワークショップとして耳飾りづくりを2月14日に実施	順調
7	市民講座、企画展示等の実施【継続】	・市民講座を実施 15回実施、参加人数261人 ・企画展示を実施 371回 ・読書まつりを開催 来場者数5,910人 ・おはなし会（定例）を開催 735回実施、参加人数7,278人	順調

〈アクションプランの分析〉

No.1 学習のきっかけづくりとなる生涯学習イベントの開催

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	市民が日頃の学習活動の成果を発表し、相互学習の場、交流の場となりました。生涯学習活動の普及・啓発が図られました。	生涯学習の意義や学びの楽しさを伝える機会として、継続的に取り組みます。
2	日頃の学習成果の発表の場、住民の交流、親交を深める場となり、生きがい、地域づくりにつながる取組みの一つとなっています。	文化祭の運営を担っているクラブ連絡協議会等と引き続き連携、協力し、文化祭の開催を支援していきます。
3	2日間で合計 18,891 人の来場があり、昨年度より約 2,700 人増加しました。49 団体が科学体験ブースや科学実験・工作教室を催しました。市内・県内の中高科学部の出展も前年度同数程度あり、市民が主体的に科学イベントに関わることのできる機会の提供ができています。	市民が日常生活の中で科学・技術を身近に感じることのできる総合的な科学・技術の祭典として、継続的に取り組みます。千葉市、千葉県に関わる団体、企業との連携を継続や市内県内に関わるテーマを取り上げる等し、地域との結びつきがある科学フェスタの運営を図ります。ホームページや SNS を活用し、積極的に情報発信していきます。
4	秋まつりや縄文ひろばは参加者数が減りましたが、春まつり・夏休み縄文ウィークは前年度よりも参加者数が増加しました。秋まつりの人数が減ったのは 10 月 26 日が雨天となったためです。1 日当たりの参加者数が多い屋外実施イベントでは天気による影響を受けやすいです。	屋外実施イベントは天気による影響を受けるので、天気の影響を受けにくい屋内型イベントの充実を図り、参加者数の底上げを図ります。
5	むかし遊び 3 回、鎧の試着体験 1 回を実施しました。半年以上の休館期間があったため、実行回数が少ないです。	リニューアル以降も多くの人々に興味関心を持ってもらうためにイベントは有効であることから、学びにつながる工夫をしながら継続します。
6	特別展に関連して、耳飾りづくりのワークショップを実施し、18 人が参加しました。実際に体験することにより、縄文文化を身近に感じ、埋蔵文化財へのさらなる興味・関心を喚起することができました。	埋蔵文化財に興味・関心をもってもらえる機会として、継続的に実施していきます。
7	令和 7 年度については市民講座、おはなし会等の図書館のイベント実施について、参加者数をコロナ禍以前に戻すことを目標に進めていき、総参加者数が増加しました。 様々な講座を開催し、講座に関連するテーマの企画展示を行い、関連資料の貸出を行いました。 企画展示及びタイムリーな話題に対応するミニ展示を実施しました。企画展示に併せて関連する資料の購入を行い、展示・紹介する資料の充実に努めました。また、展示・紹介することによって利用促進を図りました。 庁内他課との連携を進める中でコラボ展示を積極的に進めて参りました。企画展示箇所を館内に複数設けることで総実施数が増加しました。	引き続きコロナ禍以前の水準までイベント参加者数を増やしていきます。また、庁内他課とのコラボ展示の実施を増やすことにより、図書館の存在感を高め、実施数を充実させることで図書館への来場者数を増やすよう努めていきます。

アクションプランの進捗

No.2 学ぶ場と学ぶための情報提供の充実【拡充あり】

担当課：生涯学習振興課、中央図書館管理課

No.	事業名	令和7年度の実施状況	進捗状況
1	SNS等の活用、市以外が実施する講座情報の収集・提供【継続】	LINE等で講座情報発信 パンフレット等の案内情報の配布・閲覧	順調
2	SNSを活用した講座情報の提供【拡充】	公式Xを活用した、講座情報の定期的な発信	順調
3	SNSを活用したイベントの配信【継続】	XやFacebookを活用した、企画展示やイベント等に関する情報発信	順調
4	オンラインを活用した科学館リニューアル展示の紹介【拡充】	YouTube「千葉市科学館」における24本の動画コンテンツの配信	順調

〈アクションプランの分析〉

No.2 学ぶ場と学ぶための情報提供の充実【拡充あり】

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	LINE等のSNSを活用したことで、効果的な講座情報の発信ができました。 生涯学習広場にて、近隣大学等の講座情報や資格取得に関する情報を提供することで、生涯学習センター利用者に効果的な情報発信ができました。	近隣大学等の講座・イベント情報を収集し、SNSや生涯学習広場で情報発信をするなど継続的に取り組みます。
2	講座情報の定期的な発信を継続することで、市民への情報提供の機会を確保できました。定期的な更新と継続的な運用が重要であると考え、引き続き取り組んでいく必要があると考えています。	今後もSNS(X)による講座情報の定期的な発信を継続し、安定した情報提供に努めていきます。
3	Xの更新頻度を多くする等、積極的な情報発信に努め、イベントの情報のほか図書の紹介等も発信しました。今後はより多様な情報発信について検討します。	千葉市図書館のイベントや緊急情報を、利用者に広く周知できるよう、継続的にSNS投稿を行っていきます。
4	YouTubeの千葉市科学館公式チャンネルにて展示物やイベント等のPRを行う他、令和7年度は4コンテンツ追加することで、科学技術への涵養に寄与しました。	今年度末目標の21コンテンツに向けて、1コンテンツの追加を目指して、科学館と協議検討をしていきます。

アクションプランの進捗

No.3 e ラーニングの普及事業の実施

担当課：生涯学習振興課

No.	事業名	令和7年度の実施状況	進捗状況
1	e ラーニング普及事業の実施【継続】	オンライン動画学習サービス提供、タブレット貸出	順調

〈アクションプランの分析〉

No.3 e ラーニングの普及事業の実施

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	株式会社 Schoo と連携し、オンライン動画学習サービスの提供とタブレットの貸出を実施することで、e ラーニングの機会を提供することができました。	通信制大学等の案内情報の提供やオンライン講座の実施など、e ラーニングの普及に取り組めます。

基本施策 1-2 学習環境の整備

施策の方針

- 学びに興味を持った市民が学習活動をはじめるとあって、快適に参加しやすく、新しい時代に合った学習環境の整備を行うとともに、子どもや若者をはじめ、あらゆる世代が利用しやすい環境づくりに努めます。

成果指標

担当課：生涯学習振興課、加曽利貝塚博物館、郷土博物館、
埋蔵文化財調査センター、文化財課

No.	成果指標	当初 (R3)	実績 (R7)	中間目標 (R9)	達成状況
2	生涯学習施設延べ利用者数 ※	1,161,879 人	1,730,553 人	2,032,500 人	○
3	生涯学習センターの施設稼働率	47.7%	60.24%	63.0%	○
4	公民館の施設稼働率(調理室を除く)	39.0%	52.8%	53.0%	○

※生涯学習センター、公民館、科学館、加曽利貝塚博物館、郷土博物館、
埋蔵文化財調査センター旧生浜町役場、ゆかりの家・いなげ の延べ利用者数

〈成果指標の分析〉

No.	達成状況に対する現状分析	今後の取組み等
2	当初値を上回っているものの中間目標値までは差があります。 科学館はプラネタリウムリニューアル後の好調を継続しており大幅に利用者数が増加し、生涯学習センターは概ね順調に推移しています。 また、公民館の利用者数は前年度からは増加しているものの、コロナ禍以前の水準には戻っていない状況です。 一方で、郷土博物館は11月初旬まで休館していたこと、旧生浜町役場は耐震性を満たしていないため利用制限を行っていること、ゆかりの家・いなげは継続的な修繕を要する状況であることなど、施設面の影響がありました。 施設によって課題はあるものの、各施設の利用者数は増加しているため、企画・実施しているイベント等に一定の効果があるものと分析します。	引き続き、新たな利用者の獲得に繋がるよう、イベントや市民講座を企画・実施します。 特に、科学館では、リニューアルしたプラネタリウムのPRをはじめ、開府900年記念番組投影等で利用者増加を図ります。引き続き、展示物を活用したコンテンツ（講座、ワークショップ等）の充実を目指します。 また、郷土博物館リニューアルOPEN後は展示やイベントなどの適時開催により、来館者数が増加するよう工夫します。 さらに、旧生浜町役場、ゆかりの家・いなげについては、耐震補強工事、耐震診断等の早期の実施に向け検討を進めていきます。

3	当初値を上回り中間目標に向けて、順調に推移しています。 休館日の調整や空き施設の利用促進のための柔軟な料金体制など、利用者の利便性の向上を図り、稼働率の向上に努めた成果が表れています。	新たな施設利用者を獲得できるよう広報を強化するとともに、利用者のニーズを踏まえた環境整備に努めます。
4	当初値を上回り中間目標に向けて、順調に推移しています。 個人利用が増えているほか、空き室を自習室として活用したりするなどし、施設の有効活用に努めたことにより、稼働率の向上に努めた成果が表れています。	利用者アンケートなどを参考にし、計画的な修繕等により、市民にとって快適で利用しやすい施設となるよう努めます。

アクションプランの進捗

No.1 生涯学習施設等の利用環境の充実【新規あり・拡充あり】

担当課：生涯学習振興課、中央図書館管理課

No.	事業名	令和7年度の実施状況	進捗状況
1	生涯学習センターのWi-Fi環境の整備【継続】	Wi-Fi環境の整備を実施	順調
2	公民館のWi-Fi環境の整備【継続】	市内公民館で公衆無線LANの使用が実現	順調
3	科学館のWi-Fi環境の整備【新規】	実験室や企画展示室等の講座や館内イベントで使用する部屋の環境を整備し、オンライン講座やイベントのアンケート集計等での使用が実現	順調
4	図書館のWi-Fi環境の整備【継続】	総務省が示している「Wi-Fi提供者向けセキュリティ対策の手引き」に基づき、年に4回パスワードの変更を行う等、必要なセキュリティ対策を講じながらWi-Fi環境の整備を実施	順調
5	生涯学習センターのオンライン講座の充実【継続】	・オンライン講座を実施 17講座 延受講者数 1,387人 ・メディア学習講座を実施 53講座 延受講者数 1,779人	順調
6	公民館のオンライン講座の充実【拡充】	オンラインを活用した事業を140講座実施（目標100講座）	順調
7	科学館の安定した運用とサービスの充実【拡充】	プラネタリウム利用者153,396人 累計入館者数が700万人を達成	順調

〈アクションプランの分析〉

No.1 生涯学習施設等の利用環境の充実【新規あり・拡充あり】

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	施設内で Wi-Fi 接続ができる環境を整備したことで、施設利用者の利便性や学習環境の向上が図られました。	Wi-Fi 設置により施設利用者の利便性や学習環境の向上を図ります。
2	公民館のロビーや諸室において公衆無線 LAN サービスを提供することで、施設利用者の利便性や学習環境の向上が図られました。	継続してサービスを提供します。
3	実験室や企画展示室等の Wi-Fi の一部整備により、プログラミング講座やオンライン講座での使用、館内イベントでの利用者アンケート集計が実現しました。科学館内で実施する講座における学習環境や施設利用者の利便性の向上に繋がるものと考えます。	継続して Wi-Fi 設置により施設利用者の利便性や学習環境の向上を図ります。
4	総務省が示している「Wi-Fi 提供者向け セキュリティ対策の手引き」に基づき、年に 4 回パスワードの変更を行う等、必要なセキュリティ対策を講じながら Wi-Fi 環境の整備を行ったことで、安全快適な利用環境の提供ができました。	引き続き、総務省が示している「Wi-Fi 提供者向けセキュリティ対策の手引き」に基づき、安全で快適な利用環境の提供を行っていきます。
5	講座・イベントの内容に応じて対面とオンラインを併用して実施するとともに、デジタルデバイド解消のため、初心者を対象としたパソコン講座やスマホ教室等を実施することで、受講者の利便性を高められたと考えます。	効果的なオンライン講座を実施することで受講者の利便性を高め、各種メディア学習事業の実施によりデジタルデバイドの解消に向け、継続的に取り組みます。
6	生涯学習センター、さわやかちば県民プラザ等と連携し、他施設で実施した講座をサテライト配信し、またサークルの発表の様子を YouTube で公開することで、オンラインを活用した多様な事業を実施することができました。	引き続き、市民に多様な学習の機会を提供するため、オンラインを活用した事業を実施します。
7	R7 年 1 月のプラネタリウム更新以降、新機器性能の PR や特別投影の実施等もあり、プラネタリウム利用者数は前年度比 21,460 人増加となりました。令和 8 年度の投影実施を目指し、開府 900 年特別番組の製作を進めました。	開府 900 年特別番組の投影を 5 月末より実施します。Web や SNS での発信や市内小中学生に対しては一人一台端末を通して周知するなどし、広報活動を充実させます。市内学校、施設との連携、ボランティアや大学や企業との連携、魅力ある企画展の計画等を継続して行います。

アクションプランの進捗

No.2 子どもの居場所づくりの推進【拡充あり】

担当課：こども企画課、生涯学習振興課

No.	事業名	令和7年度の実施状況	進捗状況
1	どこでもこどもカフェ、プレーパークの実施【拡充】	「どこでもこどもカフェ」「プレーパーク」を合わせ、市民ボランティアの方が市内 43 か所でこどもの居場所を開催	順調
2	公民館自習室の開放【継続】	全 47 館で実施 利用者 23,331 人	順調

〈アクションプランの分析〉

No.2 こどもの居場所づくりの推進【拡充あり】

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	「どこでもこどもカフェ」については、令和7年度に5か所の新規登録があり、こどもの居場所を順調に増やすことができましたが、プレーパークの開催個所は依然として横ばいとなりました。公園緑地部との連携や、市民へのさらなる周知が必要だと考えます。	「こどもの居場所サポーター養成講座」等を活用し、引き続き市民ボランティアの育成を図るとともに、「青少年の日フェスタ」などを活用し、市民へのさらなる事業の周知を図ります。
2	子どもの居場所作りの一環として小学生から大学生を対象として、公民館の空いている諸室やロビーを自習室として開放しました。年々利用者が増えている状況です。	今後も引き続き、子どもの居場所作りの一環として自習室の開放を行って行きます。

アクションプランの進捗

No.3 生涯学習施設の老朽化への対応【新規あり】

担当課：生涯学習振興課、中央図書館管理課

No.	事業名	令和7年度の実施状況	進捗状況
1	社会教育施設保全計画の策定【新規】	公共施設を取り巻く現状と課題を総合的に踏まえ、老朽化の進む社会教育施設を適切に維持できるよう、社会教育施設保全計画を策定	順調
2	千城台公民館・若葉図書館の再整備【新規】	千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設の基本設計を踏まえ、実施設計を実施	順調
3	生涯学習施設の改修・修繕【継続】	公民館：318 件 図書館：36 件	順調

〈アクションプランの分析〉

No.3 生涯学習施設の老朽化への対応【新規あり】

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	計画案に関するパブリックコメント手続きを実施することで、いただいた意見を踏まえたうえで計画を策定することができました。	公共施設を取り巻く現状と課題を総合的に踏まえ、中長期的な視点から、今後見込まれる施設の維持・更新コスト、将来の財政状況を勘案し、老朽化の進む社会教育施設を適切に維持できるよう、計画の実施に努めます。
2	千城台公民館・若葉図書館複合施設整備基本計画を踏まえ、実施設計を行いました。	令和8年度～11年度に建設工事を進めていきます。
3	令和7年8月に策定した「千葉市社会教育施設保全計画〔公民館・図書館〕」に基づき、老朽化した公民館・図書館の再整備に着手した他、突発的に発生した施設の不具合に対応することで、利用者の利便性向上を図りました。	「千葉市社会教育施設保全計画〔公民館・図書館〕」に基づき、施設の再整備を進めます。

アクションプランの進捗

No.4 公民館の改修

担当課：生涯学習振興課

No.	事業名	令和7年度の実施状況	進捗状況
1	公民館のバリアフリー化【継続】	・昇降機や床タイルの修繕	順調

〈アクションプランの分析〉

No.4 公民館の改修

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	不調の昇降機、割れ・浮きが生じていた床タイルを修繕し、利便性の向上を図りました。	施設の再整備と合わせてエレベーターや多目的トイレを設置するなど、バリアフリーを進めます。

2 多様な学習機会の充実

基本施策 2-1 郷土や地域への愛着を深める学習機会の提供

施策の方針

- 郷土や地域に対する理解と愛着を深めるため、本市の歴史・文化資源を活用するとともに、地域に密着した資源も活用した学習機会を提供します。

成果指標

担当課：生涯学習振興課、加曽利貝塚博物館、郷土博物館、埋蔵文化財調査センター

No.	成果指標	当初 (R3)	実績 (R7)	中間目標 (R9)	達成状況
5	郷土の理解を深める講座受講者数	2,711 人	3,003 人	4,500 人	○
6	身近な地域の理解を深める講座受講者数	3,047 人	11,685 人	4,100 人	◎

〈成果指標の分析〉

No.	達成状況に対する現状分析	今後の取組み等
5	当初値を上回り中間目標に向けて、順調に推移しています。 郷土博物館が 11 月初旬まで休館していた影響はあったものの、加曽利貝塚博物館の縄文時代研究講座や博物館以外の施設での講座において概ね定員となる参加者を得ることができました。 昨年度よりも受講者数は増えていることから、現在の取組みが一定の効果を出しているものと考えます。	引き続き、参加者の知的欲求に応えられるよう、郷土の理解を深める学習機会を提供していきます。 郷土博物館では、令和 6 年度下半期から令和 7 年度上半期にかけて休館の上、展示リニューアルを行うため、その間中止となる講座はありましたが、リニューアル後も様々なテーマで郷土の歴史について理解が深まる講座の実施を継続していきます。
6	当初値だけでなく中間目標も上回る実績でした。 地域にゆかりのある人物や歴史、郷土料理などを学ぶ講座を 369 講座実施しました。実施した講座数、受講者数ともに昨年度を上回っています。	引き続き、市民の学習ニーズや地域の特性などを考慮して講座等の企画を行っていきます。

アクションプランの進捗

No.1 郷土や身近な地域の理解を深める講座・事業の充実

担当課：生涯学習振興課、文化財課、加曽利貝塚博物館、郷土博物館、埋蔵文化財調査センター

No.	事業名	令和7年度の実施状況	進捗状況
1	加曽利貝塚など縄文時代の理解を深める講座・事業【継続】	【加曽利貝塚博物館】 ・博物館連携講座（8/30） ・加曽利 JOMON ウォーク（11/5） ・特別研究講座（11/23） ・縄文時代研究講座（12/13・12/20・1/17・1/24・2/21・2/28） ・考古学基礎講座（3/21） 【埋蔵文化財調査センター】 ・加曽利貝塚発掘調査現地説明会（11/29） ・遺跡発表会（9/27）	順調
2	千葉氏など郷土の歴史の理解を深める講座・事業【継続】	【郷土博物館】 千葉氏に関する市民向け公開講座を2回実施 【埋蔵文化財調査センター】 ちば埋文講座、特別展関連講座・ワークショップ、埋文センター展示解説を実施	順調
3	千葉氏ゆかりの地への案内看板設置【継続】	千葉氏にゆかりのある史跡や伝承スポット3箇所に案内看板を設置（三代王神社、長胤寺、真蔵院）	順調
4	身近な地域の理解を深める講座・事業の充実【継続】	11,685 人	順調

〈アクションプランの分析〉

No.1 郷土や身近な地域の理解を深める講座・事業の充実

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	加曽利貝塚など縄文時代に関係する講座を開催し、発掘・研究成果を市民に還元するとともに縄文時代に興味・関心をもってもらえる機会を提供しました。 縄文時代研究講座は毎回定員に達する来場者があり、順調に推移しています。	縄文時代に興味・関心をもってもらえる機会として、継続的に実施していきます。 縄文時代研究講座は対象を一般向け（初級～中級レベル）の内容とし、来場者を多く収容できる会場にして、新規参加者の来場を図ります。
2	郷土博物館では、継続実施中の千葉氏に関する市民向け公開講座を続け、講師派遣で千葉氏関連の内容の講座を実施しました。展示リニューアルで、千葉氏研究の成果を分かりやすく掲示することができました。 埋蔵文化財調査センターでは市内の埋蔵文化財など、郷土の歴史を深められる機会を提供しました。	郷土博物館展示リニューアル後も様々なテーマで郷土の歴史について理解が深まる講座の実施を継続します。 埋蔵文化財調査センターでも、郷土の歴史に興味・関心をもってもらえる機会として、継続的に実施していきます。
3	計3箇所の千葉氏ゆかりの地に案内看板を設置し、千葉開府900年に向けてPRすることができました。 なお市内千葉氏ゆかりの案内看板は23箇所となりました。	千葉開府900年の年である令和8年度が本事業の最終年にあたり、例年同様の3箇所程度の千葉氏看板設置を目指します。
4	地域にゆかりのある人物や歴史、郷土料理などを学ぶ講座を369講座実施することで、身近な地域の理解を深める機会を提供することができました。	引き続き、市民の学習ニーズや地域の特性などを考慮して講座等の企画を行っていきます。

アクションプランの進捗

No.2 特別史跡加曽利貝塚の魅力向上

担当課：文化財課

No.	事業名	令和 7 年度の実施状況	進捗状況
1	新博物館の整備【継続】	物価高騰等の理由により令和 5 年度の入札が中止となったため、あらためて令和 7 年度に整備運営事業者の選定を行い、決定した事業者と契約を締結	遅れ
2	史跡の整備【継続】	新たな復元住居の設置 第 1 期史跡整備報告書の刊行 第 2 期史跡整備基本計画の調査検討の実施 貝層保護のための樹木伐採の実施(北貝塚 62 本伐採)	順調

〈アクションプランの分析〉

No.2 特別史跡加曽利貝塚の魅力向上

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	当初の予定からは遅れが生じましたが、令和 7 年度末に入札を経て決定した整備運営事業者と事業契約を締結しました。あわせて、土壌汚染調査を完了したほか、用地内の遺跡発掘調査も順調に進捗しています。	令和 8 年度から基本設計に着手し、令和 12 年度の開館に向けて、適切に事業を推進します。 引き続き、遺跡発掘調査を実施するとともに、加曽利貝塚と新博物館を結ぶ周遊路整備をはじめとする周辺環境整備を進めます。
2	新たな復元住居を 1 棟設置し、既存の 2 棟と合わせ整備計画で予定していた 3 棟の体制となりました。第 1 期史跡整備について報告書を刊行し整備を完了しました。	第 2 期史跡整備基本計画を策定します。 貝層保護のための樹木伐採を完了します。 (北貝塚 53 本伐採)

アクションプランの進捗

No.3 縄文文化調査研究の推進

担当課：文化財課、加曽利貝塚博物館、埋蔵文化財調査センター

No.	事業名	令和7年度の実施状況	進捗状況
1	特別史跡加曽利貝塚の究明に向けた発掘調査【継続】	第18次発掘調査の実施（9月～12月） 第16次発掘調査（令和2年度～令和4年度調査）の整理作業を 通年で実施	順調
2	縄文時代の文化や社会に関する研究【継続】	【加曽利貝塚博物館】 貝塚博物館紀要52号を刊行 自然科学分析委託を実施 【埋蔵文化財調査センター】 市内の重要貝塚・縄文集落と出土遺物の分析・研究を実施	順調

〈アクションプランの分析〉

No.3 縄文文化調査研究の推進

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	北貝塚の第18次発掘調査を令和5年度から継続して実施し、縄文時代後期の遺物包含層や遺構群を発見しました。このことから中期の貝塚・集落に加えて、南貝塚と併存する後期の集落が北貝塚にも存在した可能性が高まりました。 また、第16次発掘調査（令和2年度～令和4年度調査）の整理作業を通年で行いました。 当該発掘及び整理作業は南貝塚中央窪地の成因、利用状況の解明を目的としており、他の場所の自然窪地地形との比較や植物遺体の分析を行うことにより、研究・整理作業を進めました。	令和5年度から着手した第18次発掘調査を令和10年度まで延長し6か年計画で実施する予定です。 第18次発掘調査の整理作業を開始します。 令和2年度から4年度まで実施した第16次発掘調査の成果について令和9年度に調査報告書を刊行する予定です。
2	加曽利貝塚博物館では貝塚博物館紀要52号を刊行し、加曽利貝塚博物館の土器の研究成果を発信することができました。委託研究では加曽利貝塚出土縄文土器の付着炭化物の同位体分析委託を実施し、土器の使用法を解明しました。 埋蔵文化財調査センターでは、市内の主要な縄文貝塚・集落及びその出土資料の分析・研究（鳥喰東遺跡整理、土器圧痕調査）を行ったほか、縄文土器製作技術研究や貝輪製作研究を進め、その成果を加曽利貝塚博物館紀要に掲載しました。縄文土器の製作技法を通して縄文社会の変容にせまるなど、縄文文化の解明を進めることができました。	加曽利貝塚博物館では貝塚博物館紀要の刊行を行うと共に、年代測定委託等の分析委託を実施予定です。 埋蔵文化財調査センターでは、市内の主要な縄文貝塚・集落及びその出土資料の分析・研究（外部保管されている加曽利貝塚出土資料、鳥喰東遺跡の整理）、縄文土器製作技術研究（縄文時代前期土器の復元製作等）を実施予定です。

アクションプランの進捗

No.4 千葉氏をはじめとする郷土の歴史に関する企画展の実施

担当課：郷土博物館

No.	事業名	令和7年度の実施状況	進捗状況
1	千葉氏をはじめとする郷土の歴史に関する企画展の実施【継続】	特別展「千葉氏と城館」を開催(リニューアル再開後、1月～3月)	順調

〈アクションプランの分析〉

No.4 千葉氏をはじめとする郷土の歴史に関する企画展の実施

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	特別展「千葉氏と城館」には、10,131人の来館者があり、改修前の令和5年度の同時期の特別展の来館者数(6,594人)を大きく上回る(154%増)結果となりました。これは、展示リニューアルにより通史展示を実現したこと、千葉開府を控えて千葉氏への興味・関心が高まったこと、城郭という人気の高いジャンルを取り上げたことなどの話題性の高さによると考察します。	令和8年度に2回の特別展を実施予定しています。

アクションプランの進捗

No.5 千葉氏に関する調査研究の推進【拡充あり】

担当課：郷土博物館、埋蔵文化財調査センター

No.	事業名	令和7年度の実施状況	進捗状況
1	千葉氏に関する史料の調査【拡充】	千葉氏史料集の編集・刊行	順調
2	千葉氏関連遺跡等の発掘調査の実施【拡充】	大日寺跡の調査を実施	順調

〈アクションプランの分析〉

No.5 千葉氏に関する調査研究の推進【拡充あり】

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	令和7年度末に『千葉氏史料集』を刊行し、歴史研究者、一般利用者の両面から高い評価を得ています。この成果は、千葉氏に関する高度な専門知識を有する研究員の編集による内容の充実に裏付けられたものであることに加え、千葉開府900年という歴史的な節目の年に合わせて「千葉氏の歴史のコンプリート版資料」を刊行したことによる話題性によるものと考察します。	今後も高度な専門知識を有する研究員の体制整備に努め、質の高い調査研究の推進を図ります。
2	通町公園再整備に伴い、大日寺跡（院内遺跡）の発掘調査を実施し、その成果をまとめた概報を発行しました。千葉常胤の時代の痕跡や千葉と鎌倉とのつながりを具体的に示すことができました。	引き続き、出土品等の整理を行います。

アクションプランの進捗

No.6 郷土博物館の充実

担当課：郷土博物館

No.	事業名	令和 7 年度の実施状況	進捗状況
1	郷土博物館の展示の充実【継続】	休館（令和 6 年 9 月～令和 7 年 10 月）して展示のリニューアルを実施 令和 7 年 11 月より再開	順調

〈アクションプランの分析〉

No.6 郷土博物館の充実

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	展示改修工事が計画通り完了し、11 月 8 日にリニューアルオープンしました。再開時から年度末まで約 37,000 人の入館者を確保し、令和 5 年度の同期間比として約 150%となる成果を得ました。この結果は、リニューアルオープンによる話題性に加え、課題であった「通史展示」を実現し分かりやすく質の高い展示を実現できたこと、及びリニューアル記念特別展示を実施したことによる効果と考察します。	今後も、各時代の専門家である研究員の知見を新たな展示や博物館活動に効果的に反映していくことで、更なる博物館活動の充実を図ります。

アクションプランの進捗

No.7 千葉県史史料編近現代の刊行

担当課：郷土博物館

No.	事業名	令和 7 年度の実施状況	進捗状況
1	千葉県史史料編近現代の刊行【継続】	編集を継続中	順調

〈アクションプランの分析〉

No.7 千葉県史史料編近現代の刊行

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	近現代編の編集を継続的に実施しました。令和 8 年度に最終的な編集を行い、刊行予定です。	近現代史料編の第 3 巻目となる『千葉県史史料編 12 現代 1』を刊行するため、編集作業を進め、刊行します。

アクションプランの進捗

No.8 文化財の保存・活用の推進

担当課：文化財課

No.	事業名	令和7年度の実施状況	進捗状況
1	文化財保存活用地域計画の作成 【継続】	パブリックコメントを実施 計画の策定及び文化庁認定	順調

〈アクションプランの分析〉

No.8 文化財の保存・活用の推進

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	5～6 月にかけてパブリックコメントを実施し、意見を計画に反映しました。市民から多くの意見があったことは、文化財に対する興味関心の高さを窺うことができました。 また令和7年12月19日付で文化庁長官の認定を受け、計画を策定しました。	令和8年度より計画の取組みに着手します。

アクションプランの進捗

No.9 地域情報サービスの充実【新規あり】

担当課：中央図書館情報資料課

No.	事業名	令和7年度の実施状況	進捗状況
1	「千葉市民の知」の計画的な集積と発信【新規】	市民インタビューによるオーラルヒストリーを収集・保存・公開・作成等（9件）	順調

〈アクションプランの分析〉

No.9 地域情報サービスの充実【新規あり】

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	市民インタビューによるオーラルヒストリー（小冊子）を9件作成し、市図書館で所蔵するとともに、WEB（地域情報デジタルアーカイブ）上でも公開することにより、市民の学ぶ機会を提供することができました。	R5年度に策定したデジタルアーカイブ化計画に基づき、令和8年度もオーラルヒストリーを新たに作成し、WEB上に公開することにより市民の学びの場を提供していきます。また、令和8年度中に計画を見直し、令和9年度以降は、第2次デジタルアーカイブ化計画に基づいた取組みを行っていきます。

基本施策 2-2 市民ニーズに対応した学習機会の提供

施策の方針

- 多様化する社会において、多岐にわたる市民の学習ニーズに対応するとともに、すべての市民が必要な時に必要な学びができる、幅広い分野にわたる学習機会を提供します。

成果指標

担当課：生涯学習振興課

No.	成果指標	当初 (R3)	実績 (R7)	中間目標 (R9)	達成状況
7	公民館延べ利用者数	634,624 人	883,683 人	1,098,000 人	○
8	学習相談者数 (生涯学習センター・公民館)	3,091 人	2,788 人	3,500 人	×

〈成果指標の分析〉

No.	達成状況に対する現状分析	今後の取組み等
7	当初値を上回っているものの中間目標値までは差があります。 前年度より利用者は増えており、稼働率も僅かながら上昇傾向にありますが、1回あたりの利用者数が減っていることもあり、コロナ禍以前の水準には戻っていない状況です。	公民館に関する広報、主催講座の充実等を通じて利用者数の増を目指します。
8	当初値を下回り、中間目標に向けて厳しい実績となっています。 必要な情報を利用者自身で容易に検索できるようになったことも要因と考えています。	引き続き、HP や広報紙などによる広報に努め、市民の学習ニーズに応えるべく相談に対応していきます。

アクションプランの進捗

No.1 文化・芸術学習事業の実施

担当課：文化振興課

No.	事業名	令和7年度の実施状況	進捗状況
1	文化・芸術学習事業の実施【継続】	体験創造ワークショップ「ななめな学校」を3/21に実施 千葉国際芸術祭2025の本会期として、子ども・若者向けのワークショップを実施	順調

〈アクションプランの分析〉

No.1 文化・芸術学習事業の実施

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	メディア芸術振興事業としての体験創造ワークショップを開催したほか、千葉国際芸術祭2025においても、市民が主体となるような事業や子ども・若者が文化芸術に親しむことができる事業を実施したことにより、文化・芸術への関心を持つ機会の拡大につなげることができました。	「第3次千葉市文化芸術振興計画」に基づき、チバリアフリーアートプロジェクト等の文化芸術事業やメディア芸術振興事業等の子ども若者向け文化芸術事業を継続して実施していきます。

アクションプランの進捗

No.2 スポーツ・レクリエーション事業の実施

担当課：スポーツ振興課

No.	事業名	令和7年度の実施状況	進捗状況
1	スポーツ・レクリエーション事業の実施【継続】	「スポーツ推進計画」に基づき、各施策・事業を計画的に実施（バレーボールネーションズリーグ2025千葉大会、パラスポーツフェスタちば、千葉市家庭バレーボール大会等）	順調

〈アクションプランの分析〉

No.2 スポーツ・レクリエーション事業の実施

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	本市初開催となったバレーボールネーションズリーグ2025千葉大会では、市民招待・学校招待・パブリックビューイング・バレーボール教室・小学生クループログラム等を実施し、「する」「観る」「支える・ふれあう」施策を推進しました。	スポーツ活動を「する」「観る」「支える・ふれあう」人を増やすべく、各施策・事業を継続・拡充していきます。

アクションプランの進捗

No.3 科学関連学習事業の実施

担当課：生涯学習振興課

No.	事業名	令和7年度の実施状況	進捗状況
1	未来の科学者育成プログラムの充実【継続】	講座参加コース 23 講座 課題研究コース 5 講座 特別講座 2 講座 ジュニアプログラム 8 講座 延受講者数 973 人	順調
2	シニア科学講座の実施【継続】	大人の工作教室 5 講座実施 延受講者数 37 人	順調
3	科学関連学習事業の実施【継続】	【公民館】 講座を実施 108 講座、延受講者数 1,362 人 【生涯学習センター】 講座を実施 6 講座、延受講者数 264 人	順調

〈アクションプランの分析〉

No.3 科学関連学習事業の実施

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	予定していた全講座を実施することができました。野外フィールドワークやドローンに関する講座の2講座を新設し開催することができました。オンライン形式の講座や開閉講式では、原則参加とすることで多くの受講生の出席を実現することができました。	新たな科学分野での講座開設や、既に関係がある外部機関への講座協力を図っていきます。受講希望者の増加があっても、受講生の希望に可能な限りこたえられるように講座の開催方法もオンライン形式やハイブリット形式の開催などを検討していきます。
2	NPO 法人ちば算数・数学を楽しむ会から講師を迎えた数学分野での講座と、科学館ボランティアによるプログラミング講座を開催することで、多世代の方を対象とした事業を実施することができました。	平日の日中の時間帯の開催となるため、多くの受講者獲得のため周知方法を工夫します。NPO 法人ちば算数・数学を楽しむ会には未来の科学者育成プログラムジュニア講座においても講師を依頼していることから、児童への引率にきた保護者等を対象とした周知を図ります。
3	公民館では、子ども向けの事業を中心に開催し、一部の講座では科学館や生涯学習センターとも連携することで様々なテーマの講座を実施することができました。 生涯学習センターでは、子どもチャレンジ教室などの科学関連講座を実施し、科学に関する学習機会を提供しました。	小・中学生を対象に科学関連の講座を実施し、科学技術を体験できる機会の提供に継続的に取り組みます。

アクションプランの進捗

No.4 青少年教育・少年教育事業の実施

担当課：生涯学習振興課、南部青少年センター

No.	事業名	令和7年度の実施状況	進捗状況
1	主催講座の実施【継続】	【公民館】 講座を実施 463 講座、延受講者 8,215 人 【生涯学習センター】 青少年関連講座を実施 31 講座 延受講者数 6,906 人 【南部青少年センター】 高校生と一緒に作る科学工作講座等を開催 10 講座、延受講者数 177 名	順調

〈アクションプランの分析〉

No.4 青少年教育・少年教育事業の実施

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	公民館では、異年齢の子ども同士が学びあったり、家庭では体験できない体験・工作等を行ったりすることができる講座を 463 講座実施しました。 生涯学習センターでは、子どもチャレンジ教室、青少年の日フェスタ関連事業、子ども読書まつり関連事業など青少年・少年教育に関する学習機会を提供しました。また、高校演劇大会の支援を行いました。 南部青少年センターでは、学年の異なる児童生徒に体験の場を提供し、異年齢の交流を通して青少年の健全育成を図るため、「ときめきサタディ」及び「サマーチャレンジ」の 10 講座を実施しました。	公民館では、今後も市民の学習ニーズを把握しつつ、多様な体験学習機会の提供を継続的に実施します。 生涯学習センターでは、主催事業の実施により青少年・少年教育の学習機会として、高等学校演劇発表会の支援により学習成果の発表の場として、継続的に取り組みます。 南部青少年センターでは、令和8年度においても、小中学生を対象に工作・料理など体験活動を重視した講座を開催し、異年齢の交流を通して青少年の健全育成を図ります。

アクションプランの進捗

No.5 電子書籍サービスの充実【拡充あり】

担当課：中央図書館情報資料課

No.	事業名	令和7年度の実施状況	進捗状況
1	電子書籍サービスの充実【拡充】	・提供資料数 14,028 点 ・閲覧回数 234,339 回 ※うち一般利用者分 65,631 回 ※うちギガタブ連携分 168,708 回 ※ギガタブ連携利用学校数 - 小学校 105 校 - 中学校 25 校 ・貸出回数 20,066 回	順調

〈アクションプランの分析〉

No.5 電子書籍サービスの充実【拡充あり】

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	利用者ニーズの高い書籍や電子書籍特有の機能を有する書籍の充実を図りました。 ギガタブ連携分の閲覧回数は利用開始初年度である前年度より減少しましたが、利用する学校数は小学校・中学校ともに増加しました。年度始めや長期休業前に周知や利用の呼びかけを行った成果と考えられます。合わせて、アンケート等で把握した利用状況をコンテンツの改善に生かしていきます。	令和8年度は、学校において電子書籍の一層の活用を図る観点から、児童生徒が一斉に利用できる「読み放題のコンテンツ」の見直しを行っています。今後も、学校の利用状況等を把握し、必要な改善を進めていきます。

アクションプランの進捗

No.6 レファレンスサービスの充実

担当課：中央図書館情報資料課

No.	事業名	令和7年度の実施状況	進捗状況
1	レファレンスサービスの充実 【継続】	レファレンス機能の充実のため、令和5年10月に導入した有料オンラインデータベースサービスを引き続き提供（データベース種類：「法律・行政」、「経済・経営」、「学術」、「新聞記事」）	順調

〈アクションプランの分析〉

No.6 レファレンスサービスの充実

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	オンラインデータベースの導入により、市民が調べたい情報へアクセスすることが容易となるなど、学びの場としての選択肢を増やすことができました。	市民向けの活用講座を開催するなど、オンラインデータベースの利便性や活用方法について周知を行い、利用の促進を図ります。

アクションプランの進捗

No.7 多様な主体による学習活動の推進

担当課：生涯学習振興課

No.	事業名	令和7年度の実施状況	進捗状況
1	生涯学習センター、公民館において多様な主体と連携した事業の実施【継続】	【公民館】 講座の実施 119 講座、延受講者 5,333 人 【生涯学習センター】 民間事業者や大学等との連携講座の実施 16 講座、延受講者数 1,793 人	順調

〈アクションプランの分析〉

No.7 多様な主体による学習活動の推進

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	公民館では、地域団体や公民館の利用サークル、民間事業者などと協力したことで、多様な学習機会の提供や地域住民の交流の機会を提供することができました。 生涯学習センターでは、民間事業者や大学等と連携したことで、専門性を生かした講座等を実施できました。	公民館では、引き続き、多様な主体と連携することにより、市民の学習機会の充実を図ります。 生涯学習センターでは、多様な団体等と連携講座を実施し、専門性の高い多様な学習機会の提供として、継続的に取り組めます。

アクションプランの進捗

No.8 公民館への社会教育主事有資格者配置【拡充あり】

担当課：生涯学習振興課

No.	事業名	令和7年度の実施状況	進捗状況
1	公民館への社会教育主事有資格者配置【拡充】	令和7年度末で38人配置 (公民館管理室含む)	順調

〈アクションプランの分析〉

No.8 公民館への社会教育主事有資格者配置【拡充あり】

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	公民館職員の専門性を高め、市民の社会教育活動を推進するため、社会教育主事任用資格の取得を進め、令和7年度中に新たに2人が有資格者となりました。	今後も社会教育主事講習等に公民館職員を積極的に派遣したり、資格取得の助成を実施したりするなどし、資格取得者の増加に努めます。

アクションプランの進捗

No.9 学習相談の充実

担当課：生涯学習振興課

No.	事業名	令和7年度の実施状況	進捗状況
1	学習相談の充実【継続】	2,788人	順調

〈アクションプランの分析〉

No.9 学習相談の充実

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	公民館では、サークルや講座の情報提供、参加についての相談などに対応しました。 生涯学習センターでは、専門の相談員による相談業務や関係機関での出前相談を実施しました。 これらの取組みにより、市民の学習ニーズに応えた事業を実施することができました。	公民館では、引き続き、市民の学習ニーズに応えるべく相談に対応していきます。 生涯学習センターでは、相談業務を実施し、きめ細かい助言により相談者の学習活動を支援する機会として、継続的に取り組みます。

基本施策 2-3 現代的課題に対応する学習機会の提供

施策の方針

- 急速に変化する社会において、新たな時代の課題に対応し、生命やくらしを守る学習や、持続可能なコミュニティづくりにつながる学習の機会を提供します。

成果指標

担当課：生涯学習振興課

No.	成果指標	当初 (R3)	実績 (R7)	中間目標 (R9)	達成状況
9	現代的課題に対応する主催講座 受講者数 (生涯学習センター・公民館)	3,990 人	10,050 人	4,300 人	◎

〈成果指標の分析〉

No.	達成状況に対する現状分析	今後の取組み等
9	当初値だけでなく中間目標も上回る実績でした。公民館では、情報（ICT）・防災・環境・健康・消費生活・子育て・国際交流など、多岐にわたるテーマで前年度以上に講座を実施した他、生涯学習センターでは、青少年の健全育成に係る事業の拡充等を図りました。	新たな受講者を獲得できるように市民の学習ニーズや地域の特性などを考慮して講座を企画・実施します。

アクションプランの進捗

No.1 生命や暮らしを守る学習の充実【拡充あり】

担当課：生涯学習振興課

No.	事業名	令和7年度の実施状況	進捗状況
1	生命や暮らしを守る講座の実施【継続】	【公民館】 ・講座の実施 165 講座 延受講者 2,894 人 【生涯学習センター】 ・防災教育、消費者教育講座の実施 9 講座 延受講者数 333 人	順調
2	デジタルデバイドの解消【拡充】	【公民館】 ・講座の実施 61 講座、延受講者 1,393 人 【生涯学習センター】 ・メディア学習講座の実施 53 講座 延受講者数 1,779 人	順調

〈アクションプランの分析〉

No.1 生命や暮らしを守る学習の充実【拡充あり】

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	公民館では、健康講座、防犯・防災講座、環境講座、消費者トラブルに係る講座などを、生涯学習センターでは、現代的課題学習として、防災教育、消費者教育をテーマに講座を実施することで、生命や暮らしを守る方法についての学習機会を提供することができました。	生命や暮らしを守る方法についての学習機会である防災教育等、市民の学習ニーズや地域の特性などを考慮して講座等の企画を行っていきます。
2	公民館では、講座の実施にあたり、民間事業者やスマートシティ推進課の協力を得て実施しました。また、公民館職員が講師となり、公民館利用者を対象に、インターネットによる公民館予約方法など、実生活に役立つ内容の講座も実施しました。 生涯学習センターでは、初心者向けパソコン講座やスマホ教室等を実施しました。 デジタルデバイドの解消に寄与する事業が実施できたと考えます。	初心者向けパソコン講座やスマホ教室等を実施し、デジタルデバイドの解消に向けて、継続的に取り組みます。

アクションプランの進捗

No.2 子ども達の放課後対策【拡充あり】

担当課：生涯学習振興課

No.	事業名	令和7年度の実施状況	進捗状況
1	アフタースクール事業の推進【拡充】	アフタースクール 54 校運営 (R7:10 校移行)	順調
2	放課後子ども教室の実施【継続】	市立小学校 52 校で実施 延べ実施日数：826 日 延べ参加児童数：34,094	順調

〈アクションプランの分析〉

No.2 子ども達の放課後対策【拡充あり】

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	アフタースクールについては、44 校から 54 校に拡充し、「安全・安心な居場所」と「多様な体験・活動」の提供に努めています。令和7年度に実施したアンケートでは、保護者、児童ともに概ね8割の利用者から「満足」との回答が得られました。	アフタースクールについては、令和8年度に64校に拡充するとともに、令和9年度の10校拡充に向けた開設準備を実施し、原則全校展開に向けた取組みを進めていきます。
2	放課後子ども教室については、コロナ禍に比べ実施日数は回復しつつあるものの、実行委員会の負担が大きく、全市的にみると、担い手の確保が困難な状況に変わりはありません。 活動支援については20校、民間委託については3校で実施し、各学校の状況に応じた支援を行いました。	放課後子ども教室については、担い手不足の顕在化が課題となっていますが、実行委員会に対する支援の強化や民間委託により安定的かつ継続的な体験・活動の機会の確保を図ります。

アクションプランの進捗

No.3 家庭教育支援事業の実施

担当課：生涯学習振興課

No.	事業名	令和7年度の実施状況	進捗状況
1	家庭教育支援チーム【継続】	・学習機会の提供 講座数 11 回、延べ 513 人参加 ・相談活動 26 回、延べ 32 人参加	順調
2	子育てママのおしゃべりタイムの実施【継続】	・子育ておしゃべりタイム 145 回開催 延参加者 1,795 人 ・子育てサポーター研修 1 回開催 参加者 34	順調

〈アクションプランの分析〉

No.3 家庭教育支援事業の実施

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	子育てに関する情報や学習機会の提供などを通して、家庭と地域、関係機関のつながりづくりを支援しました。 担当者の辞任や体調不良で前期開催を見合わせたものの再開することができました。	引き続き、情報誌やホームページなどでの情報発信や子育てに関連した講座等を開催します。
2	子育てサポーターや家庭教育アドバイザーが、子育てに関する悩みや不安をもつ親の相談に応じ、子育て仲間づくりを支援しました。男性の参加者も延べ 30 名と増え定着してきました。 子育てサポーター研修講座を実施し現代の子育てについて研修が深められました。	引き続き、「子育ておしゃべりタイム」での相談活動を通じて、子育て中の悩みや不安を解消いただけるように努めます。

アクションプランの進捗

No.4 子ども読書活動の推進

担当課：中央図書館管理課

No.	事業名	令和7年度の実施状況	進捗状況
1	子ども読書活動の推進 【継続】	「千葉市子ども読書活動推進計画(第4次)」に基づき各種事業を実施 次期千葉市子ども読書活動推進計画策定に向け、子どもの読書に関する現況及び課題の調査を実施	順調

〈アクションプランの分析〉

No.4 子ども読書活動の推進

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	「千葉市子ども読書活動推進計画(第4次)」に基づき、「図書館利用登録の促進」「読書手帳の配布」等各種事業を実施しました。事業の取組状況はおおむね順調と考えます。また、次期計画の策定に向け、こども・若者会議に出席し、子どもの読書活動について意見を聴取する等の調査を進めました。	「千葉市子ども読書活動推進計画(第5次)」を策定し、引き続き子どもの読書活動の推進を図るため、各種事業の実施や、関係部局への進捗状況調査による進行管理を行います。

アクションプランの進捗

No.5 高齢化社会に対応した学習支援

担当課：生涯学習振興課、高齢福祉課

No.	事業名	令和7年度の実施状況	進捗状況
1	生きがいつくり・仲間づくり、健康・福祉に関する講座の開催【継続】	【公民館】 講座の実施 123 講座、延受講者 2,843 人 【生涯学習センター】 医療・健康、福祉講座の実施 3 講座 延受講者数 318 人 【高齢福祉課】 講座の実施 1,607 講座、延受講者数 43,081 人	順調

〈アクションプランの分析〉

No.5 高齢化社会に対応した学習支援

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	公民館では、健康セミナーや終活講座などの高齢化社会に対応した講座を 123 講座実施しました。またスマートフォンの活用方法を学ぶ講座なども開催しました。 生涯学習センターでは、現代的課題学習として、医療・健康、福祉に関する学習機会を提供しました。（健康セミナー、終活講座やスマートフォンの活用方法を学ぶ講座などの高齢化社会に対応した講座など） いきいきプラザ・センターでは、生きがいや健康作り、仲間作りを目的として、高齢者の教養の向上及びレクリエーションなどの幅広い内容の講座を開催しました。 各施設の事業を通して、生きがいつくり、仲間づくり等に寄与する機会を設けることができたと考えます。	今後も社会の変化を注視しながら、利用者ニーズを把握し、現代的課題学習として、医療・健康、福祉等の学習機会の提供として、継続的に取り組み、引き続き高齢者の健康増進や生きがいある生活が送れるよう支援します。

アクションプランの進捗

No.6 公民館の機能強化【新規あり・拡充あり】

担当課：生涯学習振興課

No.	事業名	令和7年度の実施状況	進捗状況
1	地域課題解決に向けた講座及び相談支援体制の充実【新規・拡充】	各種講座の実施 相談支援体制の充実を目的としたモデル事業を実施	順調

〈アクションプランの分析〉

No.6 公民館の機能強化【新規あり・拡充あり】

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	地域の実情や社会的な要請を踏まえ、各種講座を開催しました。また、相談支援体制の充実を図るため、行政情報等を分野ごとに掲示・配架し、市民に分かりやすい情報提供に努めました。	引き続き、地域課題等に取り組む講座を実施していくとともに、相談支援体制の充実を図るためのモデル事業に取り組めます。 また、今後も社会教育主事講習等に公民館職員を積極的に推薦し、資格取得者の増加に努めます。

アクションプランの進捗

No.7 キャリア教育・リカレント教育の推進

担当課：教育改革推進課、生涯学習振興課、政策調整課、雇用推進課

No.	事業名	令和7年度の実施状況	進捗状況
1	キャリア教育の推進【継続】	【生涯学習センター】 キャリア教育関連講座の実施 8 講座 延受講者数 175 人 【教育改革推進課】 千葉県キャリア教育新基本方針「未来を拓くキャリア教育」について教員の理解が深まるようキャリア教育主任会や各育成段階に応じた研修で周知 中学校キャリア教育ノートや進路学習ノートの改訂及び配付 職業体験学習を実施（小学校 78%、中学校 100%）	順調
2	リカレント教育の推進【継続】	【科学館】 大人の工作教室 5 講座、講演会 2 回、トークイベント 5 回、講座 3 回 延受講者数 821 人 【政策調整課】 <継続> リカレント教育に係るチラシの配架 千葉県大学連絡会議構成大学が開催している講座等の情報を市の HP 上で周知・集約 生涯学習センターホームページに、大学連携のリンクを掲載 【雇用推進課】 企業の研修費支援や資格取得支援制度の拡充	順調

〈アクションプランの分析〉

No.7 キャリア教育・リカレント教育の推進

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	生涯学習センターでは、現代的課題学習として、キャリアプランニング講座、キャリアアップ講座、子どものハローワーク講座を実施することで、現代的課題学習の機会を提供することができました。 教育改革推進課では、学校全体でキャリア教育の推進が図られるよう、千葉市キャリア教育基本方針を周知しました。「将来の夢」や「挑戦」を、探究活動とつなげる事例を収集し、周知したことで、キャリア教育への教員の理解につながりました。また、職場体験学習の一層の充実に努めてきたことで、小学校では実施校が増えており、中学校では全校で実施することができました。 さらに、生徒が主体的に生き方や進路を選択し、夢や目標への見通しをもたせられるよう、キャリア教育ノートや進路学習ノートを改訂しました。	生涯学習センターでは、現代的課題学習として、キャリアアップに関する学習機会の提供を継続的に取り組みます。 また、教育改革推進課では、学校全体でキャリア教育を推進していけるよう、引き続き千葉市キャリア教育基本方針を周知していきます。生徒が主体的に生き方を考える資料とするため、今後もキャリア教育ノート、進路学習ノート、千葉市専門高校ガイドの改訂を行います。また、学校や生徒の希望に合った職業体験学習に向け、出前授業の申込み期間を通年で実施するとともに、学習の成果について周知していきます。
2	科学館では、外部講師を招聘し、科学、技術分野で専門的な内容の講座や講演会を実施しました。延べ受講者数が昨年度比 70 人増となり、多くの市民へリカレント教育の機会を提供することができました。 政策調整課では、リカレント教育に係るチラシの配架や、大学の講座等の情報を集約・周知することで、市民が継続的な生涯学習を実施するきっかけを作っています。 雇用推進課では、人材育成や人材確保に係る市内中小企業の課題、支援を要する資格や費用規模などを把握し、それを踏まえて、「中小企業人材育成・能力開発推進支援補助制度」、「資格取得支援補助制度」の補助上限額及び対象資格の拡充を実施しました。	今後も大学等と連携し、リカレント教育に係る情報発信を継続して実施していきます。 また、企業での人材育成の取組みを支援することで、労働生産性を高め、経営基盤の強化につながるよう、補助制度の周知とともに、企業からのニーズや利用状況等を踏まえて制度の改善を図ります。

アクションプランの進捗

No.8 SDG s の達成に寄与する学習機会の提供

担当課：文化財課、生涯学習振興課

No.	事業名	令和7年度の実施状況	進捗状況
1	縄文社会の持続可能性に関する講座・事業の展開【継続】	令和7年度加曽利貝塚博物館・市原歴史博物館連携講座を実施（8月20日）	順調
2	科学館におけるSDG sに関する事業の展開【継続】	科学館においてSDG sに関する講座や事業を実施	順調

〈アクションプランの分析〉

No.8 SDG s の達成に寄与する学習機会の提供

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	「ともにいのる-縄文から現代までの祈りの場を考える-」と題した講座の中で「祈り」をテーマにした人々と自然のつながりやSDGsについて触れました。 加曽利貝塚の大型住居跡、土器集積遺構、出羽三山信仰をテーマとして扱うことにより、自然と共存しつつ生きる上で課題を解決する「祈り」の持つ、時代を超えた役割を学ぶ機会となりました。	引き続き加曽利貝塚博物館や埋蔵文化財調査センターの講座や展示で学習機会の提供を行います。
2	貸出用タブレットを活用し、展示物のAR体験をしながら、SDG sを学ぶ機会を提供することができました。トークイベントや他施設連携でも環境をテーマにした取組みを実施しました。	講座の設定やARコンテンツ充実のため、各展示物をSDG sの視点からどのように捉え、アプローチができるかを検討していきます。講座や科学館利用の仕方、貸出物品を活用した活動例等を学校団体等へ呼びかけていきます。

3 学習を生かした活力あるコミュニティづくり

基本施策 3-1 地域の担い手となる人材の発掘・育成

施策の方針

- 地域における学習活動の活発化を図るため、リーダーやファシリテーター、ボランティアなどの人材を発掘・育成します。

成果指標

担当課：生涯学習振興課

No.	成果指標	当初 (R3)	実績 (R7)	中間目標 (R9)	達成状況
10	指導者養成研修受講者数 (生涯学習センター、公民館)	550 人	503 人	630 人	×
11	ちば生涯学習ボランティアセンター登録者数 (生涯学習センター)	1,872 人	2,173 人	2,100 人	◎
12	ちば生涯学習ボランティアセンターにおけるコーディネート件数 (生涯学習センター)	341 件	499 件	380 件	◎

〈成果指標の分析〉

No.	達成状況に対する現状分析	今後の取組み等
10	当初値を下回り、中間目標に向けて厳しい実績となっています。 開催した講座数は昨年度と大きく変わらないものの、講座によっては受講者数が大幅に減ったものや、定員割れのものがありました。 取組状況は例年通りであるものの、受講者数が減少していることから、市民のニーズを捉えた講座の企画が必要と考えます。	引き続き、地域の社会教育活動が活発となるよう、新たな受講者を獲得できる講座を企画・実施します。
11	当初値だけでなく中間目標も上回る実績でした。 高齢により登録を抹消する登録者もありますが、新規登録団体の増加により、登録人数は増加しました。	新たな登録者を獲得できるよう広報を強化します。
12	当初値だけでなく中間目標も上回る実績でした。 アフタースクールからの依頼も多く、コーディネート件数は増加傾向にあります。	新たな利用者を獲得できるよう広報を強化します。

アクションプランの進捗

No.1 公民館への社会教育主事有資格者配置【拡充あり】《再掲》

担当課：生涯学習振興課

No.	事業名	令和7年度の実施状況	進捗状況
1	公民館への社会教育主事有資格者配置【拡充】	令和7年度末で38人配置 (公民館管理室含む)	順調

〈アクションプランの分析〉

No.1 公民館への社会教育主事有資格者配置【拡充あり】《再掲》

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	公民館職員の専門性を高め、市民の社会教育活動を推進するため、社会教育主事任用資格取得を進め、令和7年度中に新たに2人が有資格者となりました。	今後も社会教育主事講習等に公民館職員を積極的に派遣したり、資格取得の助成を実施したりするなどし、資格取得者の増加に努めます。

アクションプランの進捗

No.2 ボランティアの発掘・育成

担当課：生涯学習振興課、加曽利貝塚博物館、郷土博物館、中央図書館情報資料課

No.	事業名	令和7年度の実施状況	進捗状況
1	ちば生涯学習ボランティアセンター運営【継続】	生涯学習ボランティアセンターの運営 登録者数 2,173 人 コーディネート件数 499 件	順調
2	科学館ボランティア【継続】	ボランティア登録人数 291 人 ボランティア活動参加日数 337 日 ボランティア参加延人数 1,430 人	順調
3	加曽利貝塚博物館ボランティア【継続】	基礎研修 (6/2・6/9・6/16) 専門研修 (5/20～5/24)	順調
4	郷土博物館ボランティア【継続】	リニューアル後、定期的に展示内容に係る勉強会を実施 開催回数 10 回 参加延人数 216 人	順調
5	図書館ボランティア【継続】	・地域おはなしボランティア スキルアップ講座 2 回 35 人 スキルアップ研修 7 回 36 人	順調

〈アクションプランの分析〉

No.2 ボランティアの発掘・育成

No.	主な成果と考察	今後の取り組み等
1	生涯学習ボランティアの登録受け付け、登録者名簿の作成・更新を行い、学校や公民館等へ配布しました。依頼内容に応じたボランティアを紹介するコーディネートを行うことができました。	生涯学習ボランティアの登録受け付け、登録者名簿の作成・更新・紹介など、引き続きボランティア活動を支援します。
2	年間を通じて定期的にボランティア募集(説明会)を実施することができました。夏季休業中には小中学生のボランティア参加も実施することができました。	登録者数は増加しているため、参加延べ人数の増加を図るため、ボランティアが運営するワークショップへの取り組み方や展開の仕方を工夫します。また、引き続き、学生等の若年層のボランティア参加の増加を図ります。
3	加曽利貝塚ガイドの会の入会希望者4名に対する研修を実施し、新たなガイドを育成することができました。	引き続き加曽利貝塚ガイドの会の会員への研修を行い、ガイドの育成に努めます。
4	学芸員による展示室での模範解説を実施。通年展示となったことから、リニューアル前に比して学ぶべき時代の幅が拡大しましたが、個々の習熟度に差があるものの、積極的に参加する方が増加しました。	定期的な講習会の実施を継続します。
5	地域おはなしボランティアのスキルアップを目的としたスキルアップ講座やスキルアップ研修を実施しました。これらを通して、ボランティアの知識や意識の向上につながったと考えられます。	登録している地域おはなしボランティアのため、今後も継続して実施していきます。 第8期(2019年登録)が一番新しい登録になりますが、コロナ禍に活動機会が少なかったため、今後も継続的な研修の実施により、スキルの維持向上に努めていきます。 また、次期(第9期)の養成についても実施時期を検討していきます。

アクションプランの進捗

No.3 ボランティアセンター等におけるコーディネートの実施

担当課：生涯学習振興課

No.	事業名	令和7年度の実施状況	進捗状況
1	ちば生涯学習ボランティアセンターにおけるコーディネート【継続】	コーディネートの実施 コーディネート件数 499 件	順調

〈アクションプランの分析〉

No.3 ボランティアセンター等におけるコーディネートの実施

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	ちば生涯学習ボランティアセンターにおけるコーディネートを実施することで、ボランティアとその支援を必要とする団体等のマッチングを行うことができました。	ちば生涯学習ボランティアセンターにおけるコーディネートを実施し、ボランティアがさらに活用されるよう、継続的に取り組みます。

アクションプランの進捗

No.4 団体・グループ活動のリーダーやファシリテーターの養成・育成

担当課：生涯学習振興課

No.	事業名	令和7年度の実施状況	進捗状況
1	指導者養成研修【継続】	【公民館】 講座の実施 12 講座、延受講者 268 人 【生涯学習センター】 講座の実施 5 講座、延受講者数 235 人	順調

〈アクションプランの分析〉

No.4 団体・グループ活動のリーダーやファシリテーターの養成・育成

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	公民館及び生涯学習センターで講座を実施することで、地域活動、団体・グループ活動等の担い手となる人材の養成・育成、地域活動で求められるコミュニケーション能力やコーディネート力のある人材育成に寄与することができました。	引き続き、地域の社会教育活動が活発となるよう、人材育成に関する講座を実施し、地域活動で求められる人材育成の機会として、継続的に取り組みます。

アクションプランの進捗

No.5 社会教育関係団体の育成

担当課：生涯学習振興課

No.	事業名	令和7年度の実施状況	進捗状況
1	社会教育関係団体の育成【継続】	【公民館】 講座の実施 29 講座、延受講者 566 人 【生涯学習センター】 学校・地域支援者研修の実施 1 講座、延受講者数 27 人	順調

〈アクションプランの分析〉

No.5 社会教育関係団体の育成

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	公民館では、利用者団体や地域団体等を対象に活動の充実を図ることを目的とした各種講座を、生涯学習センターでは、PTA 役員を対象とした研修を実施し、社会教育関係団体の育成を図りました。	公民館では、引き続き、社会教育関係団体への支援の一環として、各種講座等を実施します。生涯学習センターでは、社会教育関係団体向けの研修を実施し、社会教育関係団体の育成を図る機会として、継続的に取り組みます。

基本施策 3-2 市民の参加・協働による学習成果の活用

施策の方針

- 学んだ成果が地域に還元され、様々な課題の解決が図られることで、持続可能なコミュニティの形成につながるよう、活用方法や機会を提供します。

成果指標

担当課：生涯学習振興課、加曽利貝塚博物館、郷土博物館

No.	成果指標	当初 (R3)	実績 (R7)	中間目標 (R9)	達成状況
13	市民自主企画講座受講者数 (生涯学習センター)	187 人	221 人	550 人	○
14	博物館ボランティアガイドの解説を受けた見学者数 (加曽利貝塚博物館、郷土博物館)	7,517 人	14,463 人	33,200 人	○

〈成果指標の分析〉

No.	達成状況に対する現状分析	今後の取組み等
13	当初値を上回っているものの中間目標値までは差があります。 前年度と比較し3講座減となりましたが、それ以上に1講座当たりの実施回数が25回から14回と大幅減となったことが要因と考えます。 昨年度の受講者数556人から大幅に減少しているため、より多くの方に参加してもらえよう、市民のニーズを捉えた企画が必要と考えます。	多くの受講者を獲得できる講座の企画・実施を支援します。
14	当初値を上回っているものの中間目標値までは差があります。 郷土博物館においては、11月初旬のリニューアルOPENまで休館していたので、再開後の対応者数には限りがある状況です。	継続して来館してもらえよう、丁寧な対応を心掛けて取り組んでいきます。 継続的な展示解説は、理解促進に効果的なことから、継続して実施します。

アクションプランの進捗

No.1 市民自主企画講座や施設ボランティアによる学習機会の提供

担当課：生涯学習振興課、加曽利貝塚博物館、郷土博物館、中央図書館情報資料課

No.	事業名	令和7年度の実施状況	進捗状況
1	市民自主企画講座や施設ボランティアによる学習機会の提供【継続】	- 市民自主企画講座の実施 9 講座 延受講者数 382 人 - 施設ボランティアによる講座の実施 35 講座 延受講者数 1,965 人	順調
2	市民自主企画講座の実施【継続】	- 特別講座 8 講座 延受講者人数 389 人 - プラネタリウム特別投影業務 9 講座 延受講者人数 2,729 人	順調
3	加曽利貝塚博物館ボランティア【継続】	- 解説回数 259 回 - 千葉こども交歓大会（6/14）、若葉区民まつり（11/2）、まなびフェスタ（2/14）などへの参加	順調
4	郷土博物館ボランティア【継続】	R7 年 11 月まで休館中だったので、活動は休止 12 月下旬から展示解説などを段階的に再開 展示解説ボランティア参加延人数 70 人 解説回数 187 回 解説人数 527 人	順調
5	地域おはなしボランティアの派遣【継続】	活動場所：26 箇所 活動回数：53 回 活動人数：116 人	順調

〈アクションプランの分析〉

No.1 市民自主企画講座や施設ボランティアによる学習機会の提供

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	市民自主企画講座（6 講座）、市民自主企画パソコン講座（3 講座）や施設ボランティアによる講座（パソコン、デジカメ等）の運営をサポートしました。	市民団体や施設ボランティアと協働して、講座を企画・実施します。
2	プラネタリウム機器の性能を生かした音楽関連のイベントや講座を実施することで多くの利用者増加につながりました。	引き続き、更新されたプラネタリウム投影機、システムの利点を活用した講座内容を検討し、市内各団体へ周知していきます。
3	例年参加している若葉区民まつり・まなびフェスタ以外に、新規にこども交歓大会へも参加し、加曽利貝塚や縄文時代について学習する機会を増やすことができました。	加曽利貝塚へ興味・関心を持ってもらえるよう、市民企画イベントに、加曽利貝塚ガイドの会と共に、引き続き参加します。
4	ボランティアが行う展示解説は、展示リニューアルにより内容を一新した後も円滑に実施され来館者からも好評を得ています。質の高い学習機会の提供を継続できたことは、展示改修に精通した研究員による勉強会を実施したことで、展示意図や見どころが効果的に伝えられ解説能力の向上につながった結果と考察します。	今後も研究員等を中心とした定期的な勉強会を実施することにより、解説能力のさらなる向上を図り、質の高い学習機会の提供に努めていきます。
5	5 月に各施設、団体へおはなしボランティア派遣のお知らせを配付し、周知しました。周知の結果、例年よりも学校への派遣が増えました。育児サークル、保育施設、学校等の読み聞かせへの派遣を実施しました。	継続して実施していきます。

アクションプランの進捗

No.2 生涯学習ボランティアの活動場所の提供

担当課：生涯学習振興課

No.	事業名	令和7年度の実施状況	進捗状況
1	生涯学習センター内にボランティア活動スペースを提供【継続】	ボランティアセンター登録者紹介講座の実施 41 講座 延受講者数 971 人	順調

〈アクションプランの分析〉

No.2 生涯学習ボランティアの活動場所の提供

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	対面での開催やオンライン配信を活用し、ボランティア登録者紹介講座を実施することで、生涯学習ボランティアの活動の場・情報発信の機会を設けることができました。	対面とオンライン配信の併用によりボランティアセンター登録者紹介講座を実施し、生涯学習ボランティアの活動の場・情報発信の機会として、継続的に取り組めます。

アクションプランの進捗

No.3 千葉市版コミュニティ・スクールモデル校の拡充【拡充あり】

担当課：学事課

No.	事業名	令和7年度の実施状況	進捗状況
1	モデル校の設置【拡充】	誉田中、誉田小、誉田東小、磯辺第三小の4校をCSモデル校に指定（市内で全7校） 教育委員会会議におけるCS導入計画（令和9年度正式導入、令和14年度全校導入完了）の審議・承認	順調

〈アクションプランの分析〉

No.3 千葉市版コミュニティ・スクールモデル校の拡充【拡充あり】

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	文部科学省のマイスター派遣制度を活用し、導入計画の策定や研修計画の整備など、CS導入に向けた諸準備を進めるとともに、伴走支援体制の構築を図ることができました。また、CSモデル校においては、CS制度に関する理解が進み、学校評議員制度からの円滑な移行が着実に図られています。	令和8年度には、新たに28校をCSモデル校として指定し、合計35校となる予定です。これら35校においては、令和9年度のCS正式導入に向けて、校内体制の整備をはじめ、保護者や地域への周知を進めるとともに、組織体制や活動内容の整理・充実、並びにその評価を計画的に実施していきます。

アクションプランの進捗

No.4 学習成果の発表機会の提供

担当課：生涯学習振興課、障害者自立支援課

No.	事業名	令和7年度の実施状況	進捗状況
1	まなびフェスタ・ボランティアフェア【継続】	まなびフェスタを開催（2月14日、15日）	順調
2	公民館文化祭【継続】	全47館のうち45館で実施 （未実施：隔年開催の1館、空調工事改修中のため休館の1館）	順調
3	障害者作品展の開催【継続】	令和7年10月10日（金）～10月15日（水）に開催	順調

〈アクションプランの分析〉

No.4 学習成果の発表機会の提供

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	まなびフェスタ、ボランティアフェアを開催することで、生涯学習及びボランティア活動に対する市民の理解促進、普及啓発を図ることができました。	まなびフェスタを開催し、生涯学習の意義や学びの楽しさを伝える機会として、継続的に取り組みます。 ボランティアフェアを開催し、生涯学習及びボランティア活動に対する市民の理解促進、普及啓発に取り組みます。
2	公民館文化祭の開催が、日頃の学習成果の発表の場、住民の交流、親交を深める場となり、生きがい、地域づくりにつながる取組みの一つとなっています。	文化祭の運営を担っているクラブ連絡協議会等と引き続き連携、協力し、文化祭の開催を支援していきます。
3	千葉県美術館 9階市民ギャラリーにて、10月10日（金）～10月15日（水）の6日間開催しました。展示作品数は268点であり、市政だよりの掲載やチラシの配付、ポスターの掲示を通して広報活動を行ったことにより、前年度よりも多くの方が来館しました。（前年度 384 名→今年度 450 名）	今後ともより多くの作品をご覧いただくため、広報活動として、市政だよりの掲載、チラシの配布やポスターの掲示場所の拡充等に取り組んでいきます。

アクションプランの進捗

No.5 地域交流・多世代交流事業の実施

担当課：生涯学習振興課

No.	事業名	令和7年度の実施状況	進捗状況
1	地域交流・多世代交流事業の実施【継続】	公民館 119 講座 延受講者 9,409 人	順調

〈アクションプランの分析〉

No.5 地域交流・多世代交流事業の実施

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	地域人材、地域資源の活用なども考慮し、市民が集い、交流することのできる機会の提供に努めました。	引き続き、多世代の市民が参加できる講座等を実施していきます。

アクションプランの進捗

No.6 青少年交流事業の実施

担当課：生涯学習振興課、南部青少年センター

No.	事業名	令和7年度の実施状況	進捗状況
1	青少年交流事業の実施【継続】	【生涯学習センター】 ・青少年関連講座を実施 31 講座 延受講者数 6,906 人 【南部青少年センター】 実施なし	順調

〈アクションプランの分析〉

No.6 青少年交流事業の実施

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	生涯学習センターでは、子どもチャレンジ教室、青少年の日フェスタ関連事業、子ども読書まつり関連事業など青少年・少年教育に関する学習機会を提供しました。また、高校演劇大会の支援を行いました。 南部青少年センターでは、ホールが老朽化により令和6年度末に使用停止となったため、音楽や演劇等の成果発表及び異世代・地域住民との交流の場である「ゆめチャレンジ」及び学生ボランティアによるおもてなし企画は、実施しませんでした。	生涯学習センターでは、主催事業の実施により青少年・少年教育の学習機会として、高等学校演劇発表会の支援により学習成果の発表の場として、継続的に取り組みます。 南部青少年センターでは、ホールが使用停止となっているため、令和8年度も実施しません。